

二、給水路南幹線及南幹線系統に屬する給排水路

A 給水路

南 幹 線

南幹線は官田溪貯水池瀦水を官田溪貯水池以南の區域約四萬二千甲の土地に灌漑用水として供給する圳路幹線にして會文郡官田庄烏山頭に於て官田溪貯水池導水路圳末左側分水門に接續して起り南して同庄中脇を経官田に至りて麻豆支線を分岐し官田ミ番子渡頭の大字界に至り官田溪水橋に依りて官田溪を渡り番子渡頭に至り渡頭溪水橋に依りて番子渡頭溪を渡り三塊厝を経會文及新化の兩郡界に至り會文溪水橋に依りて會文溪を渡り新化郡善化庄東勢寮を経同庄茄拔に至りて東勢寮、北勢洲、善化の三支線を分岐し南幹支線に分岐す。延長五千五百五十餘間にして敷幅十尺乃至二十一尺兩側法一割五分乃至一割勾配三千分ノ一乃至一千三百分ノ一最大流量七百四十六立方秒尺（平水五百十五立方秒尺）水深六尺乃至八尺を有し其の間給水路分線を分岐する分水門はじめ給水門、餘水吐、落水工、暗渠、さいぼん、車道橋、歩道橋其の他附屬構造物三十三箇所を算す。

官田溪水橋 官田溪水橋は會文郡官田庄官田ミ同庄番子渡頭の大字界に於て官田溪上に架設せるものにして、橋體構造は「プレート・ガダー」ミし橋長三百九十六呎兩桁心々幅十呎高九呎四分徑間長六十五呎八吋（橋脚

心々距離六十六呎）六連、橋脚構造は立上りを鐵構柱基礎を煉瓦造橢圓形井筒ミし立上り高十五尺井筒長三十尺乃至三十二尺長徑十五呎六吋短徑八呎六吋五基、水路樋構造は鐵板製箱型ミし高七呎一吋幅十呎勾配レベル流速毎秒約九尺最大水深七尺一寸（平水六尺）最大流量七百二十立方秒尺（平水五百二十六立方秒尺）を有す。而して本水橋上端は本島縱貫道路ミし路面幅十八尺兩側高欄高三尺五寸道路敷及高欄は何れも鐵筋混凝土造ミす。

渡頭溪水橋 渡頭溪水橋は會文郡官田庄番子渡頭に於て番子渡頭溪上に架設せるものにして、橋體構造は「プレート・ガダー」ミし橋長二百六十四呎兩桁心々幅十呎高九呎四分徑間長六十五呎八吋（橋脚心々距離六十六呎）四連、橋脚構造は立上りを鐵構柱基礎を煉瓦造橢圓形井筒ミし立上り高十五尺井筒長三十尺乃至三十一尺長徑十五呎六吋短徑八呎六吋三基、水路樋構造は鐵板製箱型ミし高七呎一吋幅十呎勾配レベル流速毎秒約九尺最大水深七尺一寸（平水六尺）最大流量七百二十立方秒尺（平水五百二十六立方秒尺）を有す。而して本水橋上端は本島縱貫道路ミし路面幅十八尺兩側高欄高三尺五寸道路敷及高欄は何れも鐵筋混凝土造ミす。

會文溪水橋 會文溪水橋は會文郡官田庄三塊厝ミ新化郡善化庄東勢寮の境界に於て會文溪上に架設せるものにして、橋體構造は「ワーレン・トラス」型ミし橋長一千百十九呎構桁心々幅十三呎六吋構桁高十七呎徑間長百二十呎（橋脚心々距離百二十三呎八吋）九連、橋脚構造は立上りを鐵筋混凝土造り基礎を鐵筋混凝土造橢圓形井筒ミし立上り高三十尺八寸乃至三十二尺三寸井筒長四十五尺乃至六十一尺長徑二十六尺短徑十四尺八寸十基、水路樋構造は鐵板製箱型ミし高八尺幅十尺勾配五百分ノ一流速毎秒約九尺最大水深八尺（平水六尺）最大流量七百二

千餘間にして敷幅二尺五寸兩側法一割五分勾配七百五十分ノ一を有す。

總爺分線 總爺分線は會文郡麻豆街寮子廊に於て麻豆支線より分岐し第二總爺分線を分岐して同庄寮子廊に終る。延長七百四十餘間にして敷幅二尺五寸兩側法一割五分勾配三千分ノ一を有す。

第二總爺分線 第二總爺分線は會文郡麻豆街寮子廊に於て總爺分線より分岐し同街溝子壠に至る。延長六百餘間にして敷幅一尺兩側法一割五分勾配四千分ノ一を有す。

麻豆分線 麻豆分線は會文郡麻豆街麻豆に於て麻豆支線より分岐し麻豆に終る。延長一千四百十餘間にして敷幅二尺二寸兩側法一割五分勾配一千五百分ノ一乃至六百分ノ一を有す。

學甲分線 學甲分線は會文郡麻豆街謝厝寮に於て麻豆支線より分岐し同街麻豆口を經北門郡佳里庄子良廟に至りて海埔、佳里興兩分線及附屬第一放水路を分岐し佳里興を經溪洲に至りて港子尾分線を分岐し學甲庄學甲に至りて西埔分線及附屬第二放水路を分岐し中洲を經溪洲子寮に至る。延長九千五百四十餘間にして敷幅四尺乃至九尺兩側法一割五分勾配五千分ノ一乃至三千分ノ一を有す。

附屬第一放水路 附屬第一放水路は北門郡佳里庄子良廟に於て學甲分線に分岐し會文郡麻豆街謝厝寮に至りて將軍溪に入る。延長八百十餘間にして敷幅十尺兩側法一割五分勾配四千分ノ一を有す。

附屬第二放水路 附屬第二放水路は北門郡學甲庄學甲に於て學甲分線に分岐し排水路頭港線に入る。延長一千四十餘間にして敷幅三尺五寸兩側法一割五分勾配一千二百分ノ一を有す。

海埔分線 海埔分線は北門郡佳里庄子良廟に於て學甲分線より分岐し會文郡麻豆街海埔に至る。延長八百九十餘間にして敷幅三尺兩側法一割五分勾配二千分ノ一を有す。

佳里興分線 佳里興分線は北門郡佳里庄子良廟に於て學甲分線に分岐し謝榜寮分線を分岐して佳里興に至る。延長一千六百餘間にして敷幅二尺乃至三尺兩側法一割五分勾配四千八百分ノ一乃至三千分ノ一を有す。

謝榜寮分線 謝榜寮分線は北門郡佳里庄子良廟に於て佳里興分線より分岐し同庄佳里興に至る。延長五百八十餘間にして敷幅五尺五寸乃至三尺五寸兩側法一割勾配二千四百分ノ一を有す。

港子尾分線 港子尾分線は北門郡佳里庄溪洲に於て學甲分線より分岐し會文郡麻豆街港子尾を經北勢寮に至る。延長一千四十餘間にして敷幅二尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一を有す。

西埔分線 西埔分線は北門郡學甲庄學甲に於て學甲分線より分岐し中洲に至る。延長二千二百十餘間にして敷幅二尺乃至五尺兩側法一割五分勾配四千分ノ一乃至三千分ノ一を有す。

蕭壠分線 蕭壠分線は北門郡西港庄後營に於て麻豆支線末より分岐し劉厝分線及附屬放水路を分岐し同庄下宅子、佳里庄新宅を經佳里に至りて埔尾分線を分岐し番子寮に至りて後港分線及番港分線を分岐し將軍庄溫汪に至りて大潭、溫汪兩分線に分岐す。延長四千六百十餘間にして敷幅九尺乃至十七尺兩側法一割五分勾配三千六百分ノ一乃至二千四百分ノ一を有す。

附屬放水路 附屬放水路は北門郡西港庄後營に於て蕭壠分線に分岐し排水路尤厝線に入る。延長二百七十餘間にして敷幅九

尺兩側法一割五分勾配一千七百分ノ一を有す。

劉厝分線 劉厝分線は北門郡西港庄後營に於て蕭壩分線より分岐し下宅子を経劉厝に至りて附屬放水路を分岐し佳里庄塩子内に至りて大寮分線を分岐し七股庄大寮を経て七股に至る。延長四千六百二十餘間にして敷幅三尺乃至四尺五寸兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至二千四百分ノ一を有す。

附屬放水路 附屬放水路は北門郡西港庄劉厝に於て劉厝分線に分岐し西して排水路大寮線に入る。延長九十餘間にして敷幅二尺兩側法一割五分ノ勾配一千分ノ一を有す。

大寮分線 大寮分線は北門郡佳里庄塩子内に於て劉厝分線より分岐し七股庄大寮を経て篤加に至る。延長一千二百三十餘間にして敷幅一尺乃至三尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一を有す。

埔尾分線 埔尾分線は北門郡佳里庄佳里に於て蕭壩分線より分岐し佳里に終る。延長五百八十餘間にして敷幅一尺兩側法一割五分勾配一千二百分ノ一を有す。

後港分線 後港分線は北門郡佳里庄番子寮に於て蕭壩分線より分岐して同庄下營に至る。延長一千七十餘間にして敷幅一尺二寸乃至二尺五寸兩側法一割五分勾配二千分ノ一乃至二千分ノ一を有す。

番港分線 番港分線は北門郡佳里庄番子寮に於て蕭壩分線より分岐し番子寮に終る。延長八百二十餘間にして敷幅一尺五寸乃至二尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至二千分ノ一を有す。

大潭分線 大潭分線は北門郡將軍庄漚汪に於て蕭壩分線より分岐し漚汪に終る。延長一千餘間にして敷

幅一尺五寸兩側法一割五分勾配一千八百分ノ一を有す。

漚汪分線 漚汪分線は北門郡將軍庄漚汪に於て蕭壩分線より分岐し附屬放水路を分岐し同庄荖子寮に至りて角帶分線を分岐し港口及將軍を経て山子脚に至る。延長四千二百五十餘間にして敷幅九尺乃至十二尺兩側法一割五分勾配三千六百分ノ一乃至一千分ノ一を有す。

附屬放水路 附屬放水路は北門郡將軍庄漚汪に於て漚汪分線に分岐し將軍溪に入る。延長百五十餘間にして敷幅九尺兩側法一割五分勾配二千分ノ一を有す。

角帶分線 角帶分線は北門郡將軍庄荖子寮に於て漚汪分線より分岐し同庄漚汪を経て口寮に至る。延長二千六十餘間にして敷幅二尺兩側法一割五分勾配二千分ノ一を有す。

西港子分線 西港子分線は北門郡西港庄後營に於て麻豆支線より分岐し同庄八分及西港を経南海埔に至りて南海埔分線を分岐し大塹寮に至りて塩子内分線を分岐し七股庄竹子港を経て七十二分に至る。延長六千七百四十餘間にして敷幅三尺乃至九尺兩側法一割五分勾配三千六百分ノ一乃至一千六百分ノ一を有し下流部には延長四千百餘間高八尺天幅六尺兩側法一割五分の附屬防水堤防を築設して會文溪の氾濫に備ふ。

南海埔分線 南海埔分線は北門郡西港庄南海埔に於て西港子分線より分岐し劉厝に至る。延長一千八十餘間にして敷幅四尺兩側法一割五分勾配一千五百分ノ一を有し放水路兼用す。

溫子内分線 溫子内分線は北門郡西港庄大塹寮に於て西港子分線より分岐し同庄劉厝、佳里庄塩子内を経

て七股庄樹子脚に至る。延長二千五百十餘間にして敷幅一尺五寸乃至三尺兩側法一割五分勾配三千六百分ノ一乃至三千分ノ一を有す。

大西分線 大西分線は北門郡西港庄後營に於て麻豆支線圳末より分岐し同庄様子林に至る。延長一千六百餘間にして敷幅二尺五寸兩側法一割五分勾配四千分ノ一を有す。

東勢寮支線

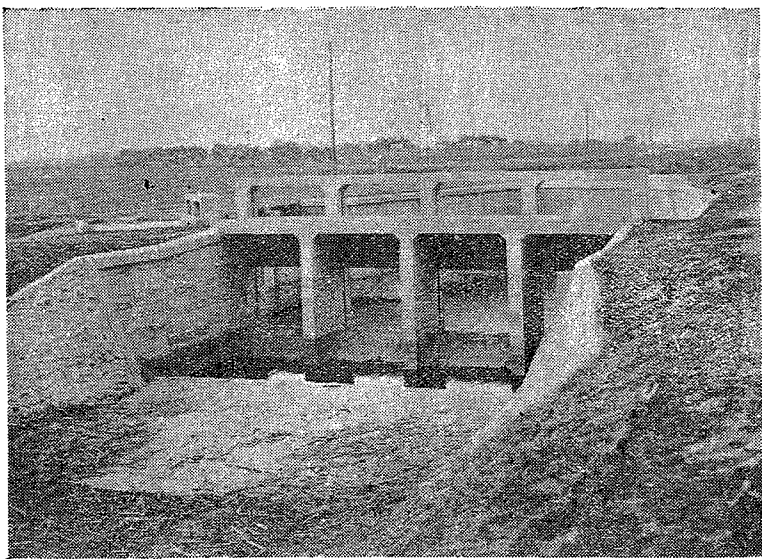
東勢寮支線は新化郡善化庄茄拔に於て南幹線より分岐し同庄東勢寮、六分寮、曾文を経て安定庄胡厝寮に至る。延長四千百餘間にして敷幅一尺五寸乃至四尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至一千五百分ノ一を有し其の間給水門、落水工、暗渠、餘水吐、步道橋其の他附屬構造物三十二箇所を算す。

北勢州支線

北勢州支線は新化郡善化庄茄拔に於て南幹線より分岐し山上庄北勢州に至る。延長一千七十餘間にして敷幅一尺兩側法一割五分勾配二千分ノ一を有し其の間給水門、落水工、暗渠、餘水吐、水路橋其の他附屬構造物九箇所を算す。

善化支線

善化支線は新化郡善化庄茄拔に於て南幹線より分岐し同庄北子店に至りて善化分線を分岐し坐駕を経善化に至りて胡厝寮分線を岐し安定庄蘇厝に至りて百二甲分線を分岐し安定に至りて安定、曾文溪兩分線に分岐す。延長六千餘間にして敷幅十二尺乃至十五尺兩側法一割五分勾配四千分ノ一乃至一千八百分ノ一を有す。善化支線及び之に



善化分線分水門

分岐する各分線總延長は四萬三千九百六十餘間にして其の間分水門、給水門、放水門、落水工、暗渠、鐵道さいぼん、輕鐵さいぼん、さいぼん、水路橋、車道橋、步道橋其の他附屬構造物百九十四箇所を算す。

善化分線

善化分線は新化郡善化庄北子店に於て善化支線より分岐し同庄善化に至りて大州分線を分岐し新市庄看西に至る。延長三千八百七十餘間にして敷幅三尺乃至十五尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至六百分ノ一を有す。

大州分線

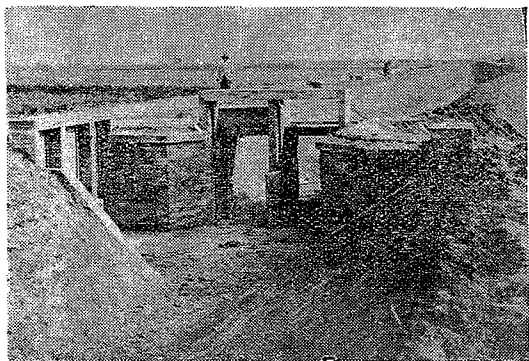
大州分線は新化郡善化庄善化に於て善化分線より分岐し新市庄道爺を経て橋頭に至る。延長三千二百餘間にして敷幅三尺乃至四尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至一千五百分ノ一を有す。

胡厝寮分線

胡厝寮分線は新化郡善化庄善化に於て善化支線より分岐し安定庄胡厝寮に至る。延長九百

八十餘間にして敷幅一尺兩側法一割勾配三千分ノ一を有す。

百二甲分線 百二甲分線は新化郡安定庄蘇厝に於て善化支線より分岐し蘇厝に終る。延長二百二十餘間にして敷幅一尺五寸兩側法一割勾配一千五百分ノ一を有す。



港口分線分水門

安定分線 安定分線は新化郡安定庄安定に於て善化支線末より分岐し同庄港子尾に至りて港口分線を分岐し港口を經六塊寮に至りて六塊寮第一分線を分岐し新豐郡安順庄和順寮に至る。延長四千三百七十餘間にして敷幅二尺乃至五尺兩側法一割五分勾配五千分ノ一乃至四千分ノ一を有す。

港口分線 港口分線は新化郡安定庄港子尾に於て安定分線より分岐し同庄港口に至る。延長七百三十餘間にして敷幅一尺五寸兩側法一割五分勾配二千五百分ノ一を有す。

六塊寮第一分線 六塊寮第一分線は新化郡安定庄六塊寮に於て安定分線より分岐し六塊寮第二分線を分岐して六塊寮に終る。延長一千三百餘間にして敷幅五寸乃至一尺五寸兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至二千分

ノ一を有す。

六塊寮第二分線 六塊寮第二分線は新化郡安定庄六塊寮に於て六塊寮第一分線より分岐し新豐郡安順庄安

順に至る。延長四百四十餘間にして敷幅一尺兩側法一割勾配三百分ノ一を有す。

曾文溪分線 曾文溪分線は新化郡安定庄安定に於て善化支線末より分岐し同庄管寮を經海寮に至りて海寮分線を分岐し新吉を經新豐郡安順庄公親寮に至りて媽祖宮分線及附屬第一放水路を分岐し學甲寮を經媽祖宮に至りて附屬第二放水路を分岐し北門郡七股庄土城子に至りて土城子分線を分岐し同庄青草崙に至りて鹿耳門分線及附屬第三放水路を分岐し青草崙に終る。延長七千五百四十餘間にして敷幅二尺乃至十三尺兩側法一割五分勾配五千分ノ一乃至三千五百分ノ一を有す。

附屬第一放水路 附屬第一放水路は新豐郡安順庄公親寮に於て曾文溪分線に分岐し北して曾文溪に入る。延長三百七十餘間にして敷幅三尺兩側法一割五分勾配五百分ノ一を有す。

附屬第二放水路 附屬第二放水路は新豐郡安順庄媽祖宮に於て曾文溪分線に分岐し北して曾文溪に入る。延長二百二十餘間にして敷幅三尺兩側法一割五分勾配五百分ノ一を有す。

附屬第三放水路 附屬第三放水路は北門郡七股庄青草崙に於て曾文溪分線に分岐し北して曾文溪に入る。延長百五十餘間にして敷幅三尺兩側法一割五分勾配五千分ノ一を有す。

海寮分線 海寮分線は新化郡安定庄海寮に於て曾文溪分線より分岐し同庄新吉を經新豐郡安順庄公親寮に至りて海尾寮分線及附屬放水路を分岐し同庄媽祖宮に至る。延長五千五百二十餘間にして敷幅二尺乃至六尺兩側法一割五分勾配五千分ノ一を有す。

海尾寮分線 海尾寮分線は新豐郡安順庄公親寮に於て海寮分線より分岐し同庄安順に至りて安寮分線を分岐

し溪心寮を経海尾寮に至りて本淵寮分線を分岐し海尾寮に終る。延長二千百餘間にして敷幅一尺乃至四尺兩側法一割五分勾配四千分ノ一乃至三千分ノ一を有す。

安寮分線 安寮分線は新豐郡安順庄安順に於て海尾寮分線より分岐し安順に終る。延長六百二十餘間にして敷幅一尺兩側法一割勾配二千五百分ノ一を有す。

本淵寮分線 本淵寮分線は新豐郡安順庄海尾寮に於て海尾寮分線より分岐し同庄媽祖宮に至る。延長一千八十餘間にして敷幅一尺五寸兩側法一割勾配三千分ノ一を有す。

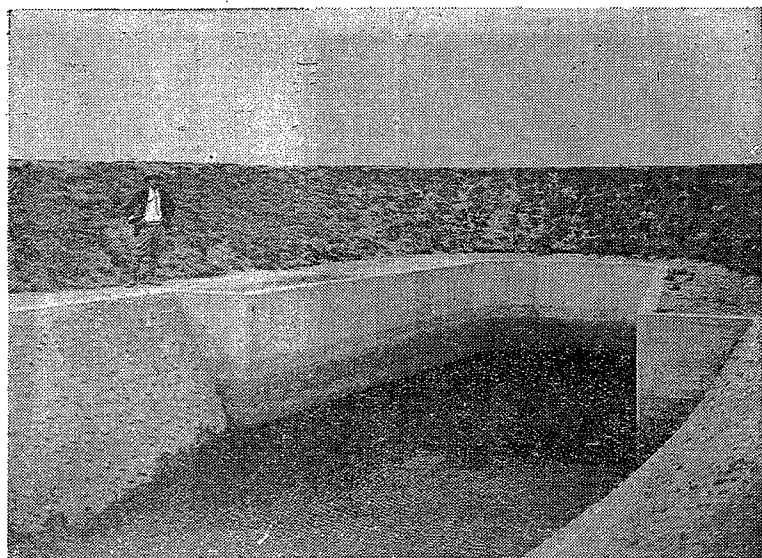
媽祖宮分線 媽祖宮分線は新豐郡安順庄公親寮に於て曾文溪分線より分岐し同庄媽祖宮に至る。延長二千九十餘間にして敷幅二尺五寸兩側法一割五分勾配五千分ノ一乃至二千分ノ一を有す。

土城子分線 土城子分線は北門郡七股庄土城子に於て曾文溪分線より分岐し土城子に終る。延長一千九百九十餘間にして敷幅一尺兩側法一割五分勾配四千分ノ一乃至三千分ノ一を有す。

鹿耳門分線 鹿耳門分線は北門郡七股庄青草崙に於て曾文溪分線より分岐し青草崙に終る。延長一千八百五十餘間にして敷幅一尺兩側法一割五分勾配四千分ノ一を有す。

南 幹 支 線

南幹支線は新化郡善化庄茄拔に於て南幹線圳末より分岐し同庄小新營に至りて三舍分線を分岐し新市庄大營を経山上庄潭頂に至りて新市分線を分岐し新市庄大社及港子墘を経番子寮に至りて番子寮分線を分岐し新化街新化に至



南幹支線第二號さいほん
(長五百四十尺)

りて北勢分線を分岐し新豐郡永康庄西勢に至りて王田大灣の兩分線に分岐す。延長八千七百九十餘間にして敷幅六尺乃至十六尺兩側法一割五分勾配四千分ノ一乃至一千分ノ一を有す。南幹支線及び之に分岐する各分線總延長は二萬三千二百三十餘間にして其の間分水門、給水門、暗渠、落水工、餘水吐、水路橋其の他附屬構造物百四十八箇所を算す。

三舍分線 三舍分線は新化郡善化庄小新營に於て南幹支線より分岐し新市庄三舍に至る。延長二千三百十餘間にして敷幅一尺五寸乃至二尺五寸兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至四百分ノ一を有す。

新市分線 新市分線は新化郡山上庄潭頂に於て南幹支線より分岐し新市庄港子墘、新市、新店を経て社内に至る。延長三千百四十餘間にして敷幅一尺五寸乃至三尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至五

百分ノ一を有す。

番子寮分線 番子寮分線は新化郡新市庄番子寮に於て南幹支線より分岐し番子寮に終る。延長一千八百餘間にして敷幅一尺五寸乃至一尺兩側法一割五分勾配一千五百分ノ一乃至六百分ノ一を有す。

北勢分線 北勢分線は新化郡新化街新化に於て南幹支線より分岐し同庄北勢に至る。延長七百八十餘間にして敷幅一尺兩側法一割五分勾配二千分ノ一乃至五百分ノ一を有す。

王田分線 王田分線は新豐郡永康庄西勢に於て南幹支線末より分岐し同庄王田に至りて附屬放水路を分岐し車行に至る。延長二千八百八十餘間にして敷幅一尺乃至六尺兩側法一割五分勾配四千分ノ一乃至八百分ノ一を有す。

附屬放水路 附屬放水路は新豐郡永康庄王田に於て王田分線に分岐し許縣溪に入る。延長三百三十餘間にして敷幅六尺兩側法一割五分勾配一千五百分ノ一を有す。

大灣分線 大灣分線は新豐郡永康庄西勢に於て南幹支線末より分岐し蜈蚣潭分線を分岐して同庄大灣に至る。延長一千八百二十餘間にして敷幅三尺乃至四尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至一千五百分ノ一を有す。

蜈蚣潭分線 蜈蚣潭分線は新豐郡永康庄西勢に於て大灣分線より分岐し同庄蜈蚣潭を経て蔦松に至る。延長二千三百八十餘間にして敷幅一尺五寸乃至三尺兩側法一割五分勾配二千分ノ一乃至八百分ノ一を有す。

B 排水路

宅子港線

宅子港線は北門郡學甲庄學甲寮に起り同庄宅子港に至りて學甲線に合す。延長一千七百九十餘間にして敷幅六尺乃至二十尺兩側法一割五分勾配六千分ノ一を有す。

學甲線

學甲線は北門郡學甲庄宅子港に起り宅子港線を合し同庄學甲を経て中洲に至り頭港線に合す。延長二千七百四十餘間にして敷幅二十尺乃至三十四尺兩側法一割五分勾配六千分ノ一を有す。

頭港線

頭港線は北門郡學甲庄學甲に起り中洲に至りて學甲線を合し北門潮止に沿ひ北門庄北門を經蚵寮に至りて海に注ぐ。延長二千七百八十餘間にして敷幅七十尺乃至百五十尺兩側法一割五分勾配六千分ノ一を有す。

三寮灣線

三寮灣線は北門郡北門庄溪底寮に起り北門潮止に沿ひ同庄北門に至りて鹽原線に合す。延長二千一百十餘間にして敷幅七尺乃至二十尺兩側法一割五分勾配六千分ノ一を有す。

鹽原線

鹽原線は北門郡北門庄北門に起り三寮灣線を合し西して三寮灣溪に入る。延長七百餘間にして敷幅二十二尺乃至三十六尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一を有す。

大屯寮線

大屯寮線は會文郡下營庄下營に起り同庄大屯寮に至りて在來排水路に入る。延長二千百餘間にして敷幅三尺乃至十八尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一を有す。

下營線

下營線は會文郡下營庄下營に起り南して麻豆線に合す。延長六百四十餘間にして敷幅五尺兩側法一割五分勾配八百分ノ一を有す。

養魚線

養魚線は北門郡學甲庄宅子港に起り會文郡麻豆街北勢寮を経同街港子尾に至りて麻豆線に合す。延長一千七百餘間にして敷幅二十尺兩側法一割五分勾配二千分ノ一を有す。

營後線

營後線は北門郡學甲庄學甲に起り會文郡麻豆街港子尾に至りて麻豆線に合す。延長一千五百四十餘間にして敷幅六尺乃至十六尺兩側法一割五分勾配二千分ノ一を有す。

總爺線

總爺線は在來排水路を其の儘利用せるものにして延長二千餘間を有し會文郡麻豆街寮子廊に起り給水路麻豆支線附屬第一放水路を合して北勢寮に至り北勢寮線に合す。

北勢寮線

北勢寮線は會文郡麻豆街北勢寮に起り總爺線を合し北して麻豆線に合す。延長三百四十餘間にして敷幅二十七尺兩側法一割五分勾配二千分ノ一を有す。

埤頭線

埤頭線は會文郡麻豆街麻豆口に起り同庄埤頭に至りて麻豆線に合す。延長二千九十餘間にして敷幅七尺乃至二十七尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一を有す。

海埔線

海埔線は北門郡佳里庄佳里興に起り會文郡麻豆街港子尾に至りて麻豆線に合す。延長九百三十餘間にして敷幅三尺乃至四尺五寸兩側法一割五分勾配一千二百分ノ一を有す。

麻豆線

麻豆線は會文郡下營庄茅港尾に起り同庄下營に至りて下營線を合し麻豆街北勢寮に至りて北勢寮線を合し同庄埤頭に至りて埤頭線を合し港子尾に至りて養魚、營後、海埔の三線を合し北門郡佳里庄溪州に至りて將軍溪線に合す。延長六千五百四十餘間にして敷幅六十尺乃至百二十六尺兩側法一割五分乃至三割勾配六千分ノ一乃至四千八百分ノ一を有す。

將軍溪線

將軍溪線は在來の河川將軍溪を改修せるものにして北門郡佳里興に於て將軍溪上流に接續して起り溪州に至りて麻豆線を合し學甲庄學甲に至りて將軍溪下流に接續す。延長二千四百十餘間にして敷幅十七尺乃至百九十五尺兩側法一割五分乃至五割勾配三千分一乃至一萬四千分一を有す。

子良廟線

子良廟線は會文郡麻豆街謝厝寮に起り給水路麻豆支線附屬第二放水路を合し北門郡佳里庄子良廟に至りて將軍溪上流に注ぐ。延長八百八十餘間にして敷幅十七尺兩側法一割五分勾配一千五百分一を有す。

尤厝線

尤厝線は北門郡西港庄後營に起り給水路蕭壠分線附屬放水路を合し佳里庄子良廟に至りて將軍溪上流に入る。延長四百七十餘間にして敷幅十一尺兩側法一割五分勾配一千五百分一を有す。

番子田線

番子田線は在來埤番子田埤に堰堤を築きて會文郡官田庄烏山頭及同庄番子田其の他上流附近一帶より流下せる雨水を本埤に受け之を適當に會文溪に放水するものなり。蓋し本埤は開築以來經年久しきに亘り本組合事業區域に編入せられたる當時に於ては其の施設殆ど破壊し漸く其の形體のみを止め居りたるのみならず本埤上流は概ね高地なるに比し下流は俗に麻豆平野と稱する低地なる關係上上流附近一帶よりの雨水流下のため本埤あるが故に却つて

下流附近一帶の耕地は常に甚しき水害を蒙りつゝ、ありしを以て上流附近一帶の惡水排除を充分ならしむるに共に下流附近一帶の水害を防止する目的を以て施設せるものにして排水路延長三百五十餘間にして敷幅九十六尺兩側法一割五分勾配三千六百分一を有す。

漚汪線

漚汪線は北門郡將軍庄口寮に起り在來排水路を経て海に注ぐ。延長一千九百餘間にして敷幅十九尺乃至四十五尺兩側法一割五分勾配三千分一乃至二千四百分一を有す。

大寮線

大寮線は北門郡佳里庄に起り給水路劉厝分線附屬放水路を合し同庄塭子内、七股庄大寮及同庄篤加を経頂山子に至りて海に注ぐ。延長五千三百十餘間にして敷幅八尺乃至六十三尺兩側法一割乃至四割勾配四千八百分一乃至二千分一を有す。

六成線

六成線は北門郡七股庄下山子寮に起り西して海に注ぐ。延長一千四百二十餘間にして敷幅百尺乃至百二十尺兩側法一割勾配五千分一を有す。

西港線

西港線は北門郡西港庄八分に起り同庄西港を経下宅子に至りて劉厝線に合す。延長一千九百七十餘間にして敷幅

八尺乃至十六尺兩側法一割五分勾配一千五百分ノ一を有す。

劉 厝 線

劉厝線は北門郡西港庄八分に起り同庄下宅子に至りて西港線を合し劉厝を経て佳里庄塩子内に至り七股溪に入る。延長三千餘間にして敷幅十尺乃至百尺兩側法一割五分勾配三千分ノ一乃至二千分ノ一を有す。

七 股 線

七股線は北門郡七股庄樹子脚に起り三股子に至りて七股溪に入る。延長三千四百八十餘間にして敷幅二十四尺乃至百五十三尺兩側法一割五分勾配四千五百分ノ一乃至三千八百分ノ一を有す。

後 營 線

後營線は曾文郡麻豆街謝厝寮に起り北門郡西港庄後營を経同庄様子林に至りて曾文溪に注ぐ。延長一千五百餘間にして敷幅三尺乃至十七尺兩側法一割五分勾配六千分ノ一乃至二千四百分ノ一を有す。

曾 文 溪 線

曾文溪線は新化郡安定庄海寮に起り同庄新吉、新豐郡安順庄公親寮、同庄安順及溪心寮を経て媽祖宮に至り鹽水溪末流に注ぐ。延長三千六百二十餘間にして敷幅二尺乃至十二尺兩側法一割五分勾配二千四百分ノ一を有す。

六 塊 寮 線

六塊寮線は新化郡安定庄六塊寮に起り新豐郡安順庄和順寮を経同庄安順に至りて安順寮線に合す。延長三千九百

二十餘間にして敷幅二尺乃至九尺兩側法一割五分勾配四千分ノ一を有す。

安 順 寮 線

安順寮線は新化郡新市庄看西に起り安定庄港口、同庄六塊寮、新豐郡安順庄和順寮を経同庄安順に至りて六塊寮線を合し鹽水溪線と併行して溪心寮を経媽祖宮に至りて鹽水溪線と合し鹽水溪末流に注ぐ。延長七千三百二十餘間にして敷幅九尺乃至四十尺兩側法一割五分勾配五千分ノ一乃至一千二百分ノ一を有す。

看 西 線

看西線は新化郡新市庄看西に起り南して鹽水溪線に合す。延長一千六百五十餘間にして敷幅六尺乃至八尺兩側法一割五分勾配六千分ノ一を有す。

鹽 水 溪 線

鹽水溪線は新化郡新市庄看西に起り看西線を合して新豐郡安順庄和順寮、同庄安順を経溪心寮に至りて安順寮線と併行し媽祖宮に至りて安順寮線と合し鹽水溪末流に注ぐ。延長八千二百二十餘間にして敷幅八尺乃至七十二尺兩側法一割五分勾配一萬五千分ノ一を有す。

座 駕 線

座駕線は新化郡善化庄座駕に起り同庄善化に至りて大洲線に合す。延長一千百九十餘間にして敷幅十五尺乃至十七尺兩側法一割五分勾配一千五百分ノ一乃至一千二百分ノ一を有す。

大 社 線

大社線は新化郡山上庄大社に起り新市庄三舎に至りて新市線に合す。延長六百餘間にして敷幅五尺乃至十一尺兩側法一割五分勾配一千分ノ一乃至四百五十分ノ一を有す。

第 二 大 社 線

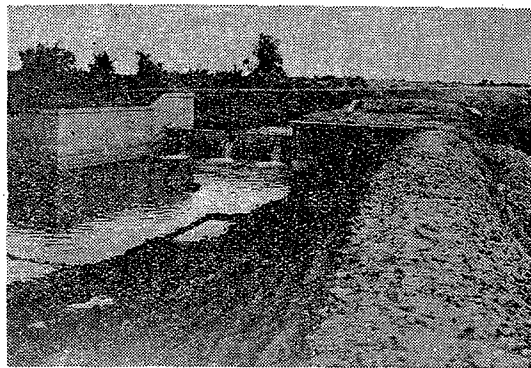
第二大社線は新化郡新市庄三舎に起り西して大洲線に合す。延長六百餘間にして敷幅十四尺乃至十五尺兩側法一割五分勾配一千五百分ノ一乃至一千分ノ一を有す。

新 市 線

新市線は在來の排水路を改修せるものにして新化郡新市庄三舎に起り大社線を含し同庄社内を経て橋頭に至り大洲線に合す。延長一千百餘間にして敷幅十二尺乃至十八尺を有す。

大 洲 線

大洲線は新化郡善化庄善化に起り南して座駕線を含し新市庄三舎に至りて第二大社線と同庄橋頭に至りて新市線を含し大洲に至りて鹽水溪に入る。延長七千六百八十餘間にして敷幅四尺乃至四十二尺兩側法一割五分乃至五割勾配一千分ノ一乃至四百分ノ一を有す。



大洲線第一號落水工
(落差三尺)

C 潮 止 堤 防

北 門 潮 止

北門潮止は北門郡學甲庄宅子港に起り急水溪畔に沿うて同庄學甲を過ぎ北門庄北門を経て同庄溪底寮に至る。頂部延長八千五百八十餘間にして起點より三千九百六十八間七分の間は急水溪の氾濫に備ふる爲防水堤防兼用線として天幅九尺内法二割外法三割勾配四千分ノ一爾餘の四千六百十七間四分の間は天幅九尺兩側法一割五分を有し其の間附屬自働排水門二箇所を有す。

附屬第一自働排水門 北門潮止附屬第一自働排水門は内法四尺、深六尺、十八連より成り鐵筋混凝土造自働式す。

附屬第二自働排水門 北門潮止附屬第二自働排水門は内法四尺、深六尺、十連より成り鐵筋混凝土造自働式す。

土 城 子 潮 止

土城子潮止は北門郡七股庄青草崙に起り海濱を迂回して同庄土城子に至る。頂部延長七千七百二十餘間にして天幅九尺兩側法二割勾配三千六百分ノ一を有し其の間附屬自働排水門二箇所を有す。

附屬第一自働排水門 土城子潮止附屬第一自働排水門は内法三尺、深四尺、四連より成り鐵筋混凝土造自

働式とす。

附屬第二自働排水門 土城子潮止附屬第二自働排水門は内法五尺、深六尺、四連より成り鐵筋混凝土造自働式とす。

媽祖宮潮止

媽祖宮潮止は新豐郡安順庄媽祖宮の西部海濱を迂回す。頂部延長三千二百七十餘間にして天幅九尺兩側法二割を有し其の間附屬自働排水門三箇所を有す。

附屬第一自働排水門 媽祖宮潮止附屬第一自働排水門は内法三尺、深四尺、四連より成り鐵筋混凝土造自働式とす。

附屬第二自働排水門 媽祖宮潮止附屬第二自働排水門は内法三尺、深四尺、二連より成り鐵筋混凝土造自働式とす。

附屬第三自働排水門 媽祖宮潮止附屬第三自働排水門は内法三尺、深四尺、二連より成り鐵筋混凝土造自働式とす。

溪心寮潮止

溪心寮潮止は新豐郡安順庄海尾寮の西部海濱を迂回す。頂部延長二千四百二十餘間にして天幅九尺兩側法二割を有し其の間附屬自働排水門一箇所を有す。

附屬自働排水門 溪心寮汐止附屬自働排水門は内法三尺、深四尺五寸四連より成り鐵筋混凝土造自働式とす。

三、給水路濁幹線及濁幹線系統に屬する給排水路

A 給水路

濁幹線

濁幹線は主として濁水溪水導水設備に依りて取入れたる濁水溪水を北港溪以北の區域約五萬二千甲の土地に灌漑用水として供給する圳路幹線にして斗六郡荊桐庄大埔尾に於て濁幹線導水路圳末第二制水門に接續して起り西して大埔尾、惠來厝兩支線を分岐し虎尾郡虎尾庄惠來厝に至りて平和厝、埤內兩支線を同庄過溪子を經平和厝に至りて虎尾、竹園子兩支線を埤內に至りて龍巖支線を廉使に至りて馬公厝支線を虎尾を經竹園子に至りて土庫支線を三合に至りて小田支線を土庫庄過港に至りて鹿寮支線を北港郡元長庄鹿寮に至りて廊子內、新吉兩支線を同庄內寮に至りて北港支線を分岐して北港、嘉義の兩郡界をなす北港溪に至り北港溪暗渠に依りて北幹線に連絡す。延長一萬七千五百五十餘間にして敷幅二十三尺乃至三十六尺兩側法一割五分乃至一割勾配五千五百分ノ一乃至二千四百分ノ一最大流量一千五百立方秒尺(平水一千四百二十立方秒尺)水深六尺乃至八尺を有し其の間給水路支線を分岐する分水門はじめ餘水吐、落水工、暗渠、水路橋、鐵道橋、車道橋、步道橋其の他附屬構造物七十有八箇所を算す。